

千葉大学における 研究データ管理教育に関する報告

千葉大学附属図書館 熊崎由衣、千葉大学アカデミック・リンク・センター 國本千裕

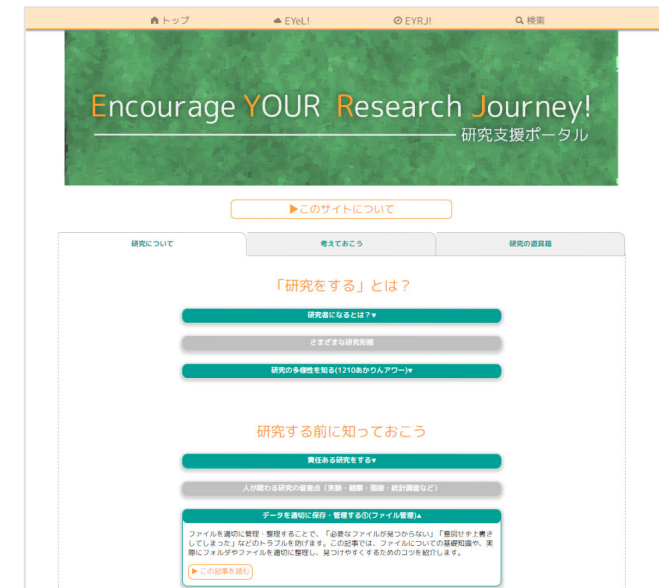
2023年度RDUF公開シンポジウム(2023/12/4)



Academic Link

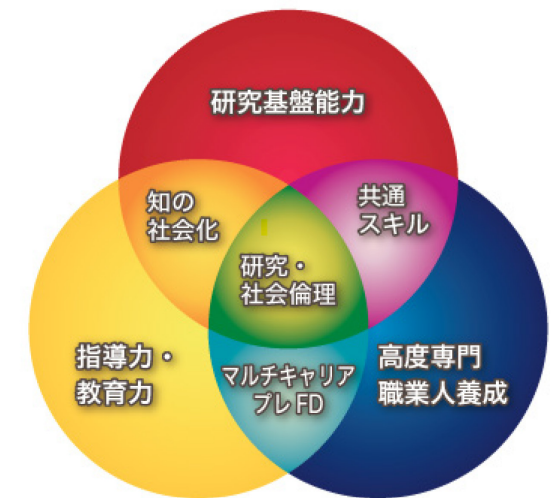
研究データ管理に関する本学の状況

- 「国立大学法人千葉大学研究データポリシー」策定(2023/6)
 - オープンサイエンス推進に向けた検討WG(2022/6～)
 - 竹内附属図書館長(座長)、國本ALC副センター長、学術研究・イノベーション推進機構副機構長／共用機器センター長、情報戦略機構長、医学・工学・環境学等の研究者
 - 事務組織はオブザーバー(附属図書館、情報企画課等)
- 研究データ管理の支援
 - 体制・環境整備：検討中
 - ALC／附属図書館では
 - 機関リポジトリでのデータ公開
 - 「研究支援ポータル:EYRJ!」:2021/6～
<https://alc.chiba-u.jp/eyr/resjrny.html>



授業の位置づけと概要

- 科目名：研究データの保存・管理・公開の基礎
 - 大学院共通教育として新規開設（2023/4～）
 - 全学開講科目の「共通スキル」科目として実施
 - これから研究者・支援者になる学生にとって必要な知識と
院生として研究する上で必要な留意点を学ぶ
- 概要
 - 集中講義（全8回）、対面・メディア授業
 - 受講対象：博士前期課程・後期課程
 - 理学、園芸学、医学等の学生（M・D）が履修



授業構成の意図



研究データ管理と必要なスキルだけを、
教えても…大学院生には響かない!!!

- 研究データ管理についての知識・スキルを、
研究のプロセスに沿って + 研究リテラシーの一貫として伝える（文脈をつける）
- 学術情報流通の現在や変容、研究分野の現状
 - 査読制度、オープンサイエンス、成果公開に関する現行制度と課題、…
- 研究データ管理をする効果・影響
 - 研究手法の変化、公開を求める流れ、成果と評価の関係、…

授業構成

- | | |
|-----|--|
| 背景 | 1. 研究のライフサイクルと学術情報流通の仕組み（附属図書館・アカデミック・リンクセンター 竹内比呂也） |
| 現状 | 2. エ学を例にした研究室・ラボでの研究活動（工学研究院 吉田弘幸） |
| 現状 | 3. デジタルヒューマニティーズを例にした人文社会系の研究活動（人文社会科学系教育研究機構 小風尚樹） |
| 背景 | 4. 学術情報流通のゲームチェンジとオープンサイエンス（文部科学省科学技術・学術政策研究所 林和弘） |
| 影響 | 5. 研究評価の現在と未来（文部科学省科学技術・学術政策研究所 林和弘） |
| スキル | 6. 研究データの管理・公開・利活用（アカデミック・リンクセンター 國本千裕、附属図書館 熊崎由衣） |
| スキル | 7. 千葉大学における研究データの保存・管理の留意点（情報戦略機構 今泉貴史） |
| 影響 | 8. 総合討議 データ管理計画（課題）のレビュー及び意見交換（参加可能な全教員） |

学内のRDMステークホルダー（情報基盤、図書館）を巻き込み、

気鋭の研究者（文・理）、オープンサイエンス等の専門家が学生をencourage

研究データ管理（第6・8回）の内容

- 研究ライフサイクルと研究データ
 - 定義、研究とデータの関係、受講者の研究データの取扱い（議論）
- 研究データ管理
 - 必要性：自分／他者のためにできること
 - データ管理計画：DMPの必要性、資金配分機関のポリシー
- 公開・共有・非公開
 - 留意点、作業（クリーニング、READMEファイル、リポジトリ選択、利用条件、…）
- 総合討議
 - 受講生がデータ管理計画を作成し（課題）、教員がレビュー

スキル中心

影響・効果

「研究データの管理・公開・利活用」での考慮

- 構成・内容上の考慮

- 大学院生にとって身近な問題からとりあげる
- 研究の文脈に沿って、研究者視点を意識して伝える
 - 例：研究室でのデータ共有、論文投稿時に求められる事例
- 若手研究者が直面する変化を「自分事」として考えてもらう
 - 例：総合討議、データ管理計画作成

- 個人的には…

- 研究自体の展開を意識して研究データ管理・成果公開を考えるよう伝える
- 研究データ管理は行われているもの。今起きている考え・方法の変化を伝える
- 分野でイメージの異なる(かもしれない)語義・行為を意識して説明する

まとめ

- 授業「研究データの保存・管理・公開の基礎」では
研究プロセスと展開を踏まえた広い視野で授業を構成
- ALC／附属図書館は正課と正課外両方から教育を実施
 - 大学院共通教育「研究データの保存・管理・公開の基礎」
 - 「研究支援ポータル:EYRJ!」のコンテンツ作成

コンテンツは随時追加していきますのでご覧ください

データを適切に保存管理する

データリポジトリでの研究データ公開

研究成果をオープンアクセスにする ほか

